

言語学者・野間秀樹さんに聞く

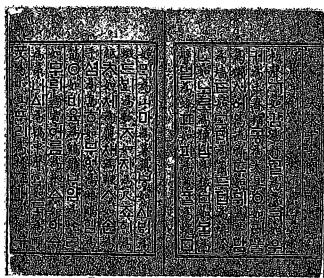
インタビュー



野間秀樹さん

「ハングルの誕生」平凡社 (960円＋税) E03-3818-0743

野間 秀樹 (のま ひでき) 1953年生まれ。朝鮮言語学、日韓対照言語学などを専門とする言語学者。著書に『韓国語と文法の関係』(ワイルド・スウェーデン社)、『新・至福の朝鮮語』(朝日出版)、『絶妙のハングル』(日本放送出版協会)など。共著書に『ニューエクスプレス韓国語』(白水社)、『きらきら韓国語』(同人社社)、編著書『韓国語教育講座全4巻』(刊行中: くらひ出版)。05年大韓民国文化政策受贈。06～07年ソウル大学校韓国文化研究所特別研究員。前東京外国語大学大学院教授。



『訓民正音』の解例本

音から文字を創った

「師なくして自ら悟らしめん」

「訓民正音」は、朝鮮語の発音を正確に表すための文字体系です。その発明者は、15世紀の朝鮮王、世宗大王です。世宗大王は、民衆が文字を学ぶのが難しいと感じて、自分自身で文字を考案しました。彼は、音の高低や強弱を表現するために、様々な記号や文字を組み合わせたのです。この「訓民正音」は、朝鮮語の普及に大きく貢献しました。また、その発明は、言語学や文字学の分野でも重要な成果とされています。

「知」の世界を拓ける『訓民正音』

ハングル

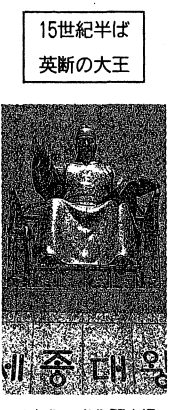
思想や感性で歴史に挑んだ。文字の力で民衆の心を動かした。世宗大王の偉業は、文字の力で民衆の心を動かしたことにあります。彼は、民衆が文字を学ぶのが難しいと感じて、自分自身で文字を考案しました。彼は、音の高低や強弱を表現するために、様々な記号や文字を組み合わせたのです。この「訓民正音」は、朝鮮語の普及に大きく貢献しました。また、その発明は、言語学や文字学の分野でも重要な成果とされています。

漢字漢文の世に革命

イデオロギーと表裏一体で

漢字漢文の世に革命。イデオロギーと表裏一体で。世宗大王は、民衆が文字を学ぶのが難しいと感じて、自分自身で文字を考案しました。彼は、音の高低や強弱を表現するために、様々な記号や文字を組み合わせたのです。この「訓民正音」は、朝鮮語の普及に大きく貢献しました。また、その発明は、言語学や文字学の分野でも重要な成果とされています。

一つの言語圏の財産を超えた存在。世宗大王は、民衆が文字を学ぶのが難しいと感じて、自分自身で文字を考案しました。彼は、音の高低や強弱を表現するために、様々な記号や文字を組み合わせたのです。この「訓民正音」は、朝鮮語の普及に大きく貢献しました。また、その発明は、言語学や文字学の分野でも重要な成果とされています。



ソウルの光化門広場に立つ世宗大王の像

15世紀半ば、英断の大王。世宗大王は、民衆が文字を学ぶのが難しいと感じて、自分自身で文字を考案しました。彼は、音の高低や強弱を表現するために、様々な記号や文字を組み合わせたのです。この「訓民正音」は、朝鮮語の普及に大きく貢献しました。また、その発明は、言語学や文字学の分野でも重要な成果とされています。